

【海外】「奨学金継続願」記入例

「奨学金継続願」の記入にあたって、特に注意が必要な点について記載しています。
必ず、記入例を確認しながら、記入をしてください。

ホームページからダウンロードした「奨学金継続願」を使用する場合

【海外貸与奨学金】

照会番号
999

注① この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生の資格を失います。
 ② 奨学金の継続を希望しない場合は、直ちに、辞退の「異動願(届)」を提出してください。
 ③ 水色の欄に、記入をしてください。選択肢は、あてはまる記号を記入してください。記入漏れは不可です。

機構ホームページからダウンロードした「奨学金継続願」を使用する場合は、国内連絡者宛てに郵送している「奨学金継続願」に、**赤字**で印字されている4つの数値（**照会番号**、**奨学金振込額**、**機関保証料**、**貸与終期**）を**必ず転記**してください。

国内連絡者現住所について

奨学生番号	8U2U4999999	氏名	奨学 太郎
現在籍学校名(日本語又は英語) <small>※編入学をした場合には、手続きが必要です</small>	ABC大学		
学部・学科/研究科・専攻	経営学部		
国内連絡者現住所 <small>ア, 変更なし イ, 変更あり(「住所変更届」もご提出ください)</small>			イ

本書類が届いた住所から、国内連絡者の住所が変更しているにもかかわらず、「住所変更届」が未提出の場合は、機構ホームページから様式を取得し、速やかに提出してください。

経済状況5-1【あなたの収入】

- ・経済状況【あなたの収入】には、**2021年12月から2022年11月までの期間内に生じた収入**について記入します。
- ・1万円未満は切り捨てて記入してください。
- ・「海外留学支援制度」の給付奨学金を受けている場合は、(c)に計上してください。

5-1. 【あなたの収入】あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。
 (2022年1月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から11月の収入金額を記入してください。) ※1万円未満切り捨て

(a) 家庭からの給付(両親等からの仕送り、家庭が支払った授業料・家賃含む)	225	万円
(b) 日本学生支援機構の奨学金(貸与額通知書に記載の振込額の合計)	144	万円
(c) 日本学生支援機構の給付奨学金、日本学生支援機構以外の奨学金	0	万円
(d) アルバイト等収入	0	万円
(e) 配偶者の定職収入(大学院在籍者で定職収入のある配偶者がいる場合のみ記入)	0	万円
(f) その他(貯蓄等を取崩した額や臨時収入等)	36	万円
収入合計(A) : (a)+ (b)+ (c)+ (d)+ (e) + (f)	405	万円

経済状況 5-2 【あなたの支出】

- ・経済状況【あなたの支出】には、**2021年12月から2022年11月までの期間内に生じた支出**について記入します。
- ・1万円未満は切り捨てて記入してください。
- ・(1)学費について
2021年12月から2022年11月までの間に、2022年12月以降の学費も支払った場合は、その金額を「(1)学費」に計上してください。また、学費に相当する金額を、【あなたの収入】の「(a)家庭からの給付」にも計上してください。

5-2. 【あなたの支出】あなたの前年度12月から今年度11月の支出に関する金額を記入してください。
(2022年1月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から11月の支出金額を記入してください。) ※1万円未満切り捨て

経済状況	(1) 学費 (授業料・施設費などの学校納付金等を含む。)	310	万円
	(2) 修学費 (教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等を含む。)	30	万円
	(3) 家賃 (共益費等を含む。敷金礼金等の特別支出を除く。)	0	万円
	(4) 食費	24	万円
	(5) 光熱水料通信費 (携帯電話等の通信費を含む。)	9	万円
	(6) その他 (医療費、娯楽・嗜好費等)	24	万円
	(7) 機関保証制度の保証料	7	万円
	支出合計(B) : (1)+ (2)+ (3)+ (4)+ (5)+ (6)+ (7)	404	万円
収支差 (≧0) : 収入合計(A) - 支出合計(B)	1	万円	

収支差：収入合計(A) - 支出合計(B) が0以上となるよう記入してください。
なお、収支差が大きい場合(大学36万円以上、大学院45万円以上)は、貸与月額が減額指導の対象となります。

卒業予定年月 10-1、10-2、10-3

10-1. 「在籍証明書」の卒業予定期について、あてはまるものを選択してください。

ア. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載あり

イ. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載なし、又は卒業予定学期(セメスター)の記載あり イ

10-2. 卒業予定年月を記入してください。

10-1がアの場合 → 「在籍証明書」に記載の卒業予定年月を記入してください
イの場合 → 学校担当者と相談のうえ決定した卒業予定年月(最終授業/試験が行われる年月)を記入してください

卒業予定年月	2024	年	6	月
--------	------	---	---	---

10-3. 上記の卒業予定年月とあなたの奨学金貸与終期について、確認してください。

あなたの奨学金貸与終期	2024	年	6	月
-------------	------	---	---	---

一致している → ○
一致しない → 理由について、下記①～⑩から選択してください。

「在籍証明書」に卒業予定年月の記載がない場合、または卒業予定学期(セメスター)の記載となっている場合には、アカデミックカレンダー(学事暦)で確認できる「最終授業/試験月」を、卒業予定年月としてください。